

令和4年度 第2回総合教育会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年8月19日（金）午後1時30分
- 2 開催場所 大町市役所 西会議室
- 3 出席委員
大町市長 牛越 徹
教育長 荒井今朝一
同職務代理者 中山晴隆
委員 仲原直美
委員 下川清志
委員 森しのぶ
- 4 アドバイザー 副市長 矢花久則
- 5 説明のため出席した者
大町市 総務部長 和田泰典
企画財政課長 三原信治
子育て支援課長 渡辺卓也
企画財政課企画調整係長 本堂勝也
大町市教育委員会 教育次長 竹内紀雄
教育参事 太田三博
学校教育課長 平林政規
生涯学習課長 牛越秀仁
山岳博物館館長 鈴木啓助
学校教育課庶務係長 柳澤俊樹
学校教育課学校再編係長 一本木晋

《開会 午後1時30分》

竹内教育次長

皆さんこんにちは。お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から本年度第2回目の総合教育会議を開会いたします。会議事項に入りますまで進行を務めます教育次長の竹内でございます。よろしくお願いいたします。

早速ではございますが、牛越大町市長からご挨拶をお願いします。

牛越市長

第2回総合教育会議の開会に当たり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、教育委員の皆様には、大変ご多忙の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から、教育長並びに教育委員の皆様方には、市の教育行政の推進にご尽力いただいております。

ますことに深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、第7波が拡大傾向となりました先月25日、“第7波を乗り切るために”との市長メッセージを発出したところですが、県では、拡大がいつそう進み、病床使用率が50%を超えた今月8日、県独自の「医療非常事態宣言」を発出し、医療負荷を少しでも軽減するよう県民の皆様にご協力を呼び掛けております。

市内では、新規陽性者が連日、増減を繰り返しており、特に、このお盆過ぎの感染状況を注視するとともに、教育委員会に対しましては、夏休み後の小中学校の感染状況の把握に努めていただき、感染拡大防止を図るよう要請いたしましたところでございます。

今後、市民の皆様には、引き続き基本的な感染防止対策に努めていただき、4回目ワクチンの接種を進めていただくよう、また、早期に接種をいただくよう呼びかけますとともに、3回目まで接種が済んでおります60歳以下の方、或いは基礎疾患をお持ちでない方につきましても、特に、20代30代の若い保護者の皆さんの接種が中々進んでいない状況でありますので、是非、早期に3回目までのワクチン接種を進めていただくようお願いするところでございます。

さて、学校の再編につきましては、新たな大町中学校の新年度開校に向けた準備が鋭意進められており、先月には、大町中学校の新たな校章が決定しました。デザインは、これまでの第一中学校と仁科台中学校2校の校章を融合させ、両校の伝統を引き継いで欲しいという願いがしっかり表現された校章であります。この校章が大町中学校の新たな歩みとともに、末永く愛され、親しまれることを特に期待するところでございます。

また、校歌につきましては、ご案内のとおり、作詞を同志社大学出身の伊東さんに、また、作曲は桐朋学園大学出身の土田さんに依頼申し上げ、年内の完成に向けて作業を進めていただいております。

なお、制服等につきましては、アンケート調査の結果を基に、市内繊維組合から提案いただきました3種類のサンプルを展示し、その後の意向調査を踏まえ、生徒及び保護者の皆様の代表による「選定委員会」において、ブレザータイプの制服及び体操着等が決定されました。

学校施設の整備につきましては、現仁科台中学校の大規模改修工事に着手し、来年1月末の完成を目途として、特別支援学級の教室増設や洋式トイレの新設、給食棟アレルギー対策室の増設などを進めていただいております。

さて、本日の会議におきましては、大町・平地区の小学校の設置位置についてご協議をいただきます。候補地となっております

西小学校と第一中学校につきましては、状況をご理解いただくため、見学会を先週 11 日に開催し、延べ 24 人の市民の皆様にご参加いただきました。両校の施設や設備等の現況や環境を実感していただく良い機会になったのではないかと考えるところでございます。

校地の選定に当たりましては、先月 11 日、市議会全員協議会におきまして、検討項目案や作業スケジュールなどをご説明いただいたところであります。本日は、昨日開催いただきました定例教育委員会での協議内容についてご報告いただき、それを踏まえ、新たな小学校の設置位置の選定に係る仮評価内容についてご協議いただくこととしております。

教育委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、校地の選定につきましては、次代を担う子ども達にとりまして、望ましい教育環境の整備と質の充実向上に努めてまいりますので、教育委員の皆様のおいっそうのご理解、ご協力をお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶といたします。

大変お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

牛越市長、ありがとうございました。

続きまして、荒井教育長からご挨拶をお願いいたします。

改めまして、皆さんこんにちは。

第 2 回目の総合教育会議の開会に当たり、教育委員会としてのご挨拶を申し上げます。

牛越市長におかれましては、日頃から教育行政に深いご理解と特段のご配慮をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

教育委員会では、新型コロナウイルスへの対応等、様々な課題に適切に対処しながら、確かな学力を伸ばす教育の充実をはじめ、年度当初に計画をいたしました 9 項目の重点施策を基本として、多様的で主観的な深い学び、所謂、協働の学びを指導の基本に据えながら、地域社会と学校の連携を更に深め、コミュニティ・スクール化における地域に開かれた信頼される学校づくりを推進しているところでございます。

とりわけ、急激な少子化の進行を踏まえまして、令和 3 年度に策定をいたしました学校再編基本計画に基づき、将来展望に立って学校再編を着実に進めておりますが、中学校につきましては、ただ今お話がございましたように第一中学校と仁科台中学校の両校間で、教職員間の協議や連絡調整、そして、生徒間の交流なども進んでおり、これまでに校名をはじめ校章、制服等も決まり、校歌についても 9 月中には歌詞の原案をお示しできる、そうした段階までできているところでございます。

竹内教育次長

荒井教育長

また、小学校につきましては懸案となっております大町・平地区を通学区とした小学校の校地の選定について7月の教育委員会で両校地の評価項目や資料等についてご協議をいただき、去る8月11日には両校地の見学会を実施いたしました。

昨日の定例教育委員会では、これまでの経過を踏まえ、評価項目ごとに教育委員会として検討をし、仮評価として取りまとめをいたしましたので、本日の総合教育会議では、この結果をお示しして改めてご検討いただきたいと存じます。

本日もご検討いただいた内容を踏まえ、更に教育委員会では市民の皆様のご意見等も十分にお聞きしながら、10月若しくは11月を目途に最終的な評価を行いながら校地の選定をしてまいる方針でございますので、なおいっそうのご配慮とご尽力をお願い申し上げます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

竹内教育次長

ありがとうございました。

次に、次第の4、会議事項に入ります。

ここからの進行につきましては、総合教育会議を主宰されます牛越市長からお願いいたします。

牛越市長

暫くの間、進行を務めてまいります。

円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。

先程のご挨拶でも申し上げましたとおり、忌憚のないご意見やご質問、そして、お考えをご発言いただきますよう、お願いいたします。

それでは、お手元の会議事項に従い進めてまいります。

本日の議題は2項目でございます。

初めに、「学校再編の進捗状況報告」を議題として事務局から説明をお願いします。

一本木学校再編係長

(資料1に基づき説明。)

- ・新中学校「校章」
- ・新中学校「校歌」
- ・新中学校「制服等」
- ・新中学校「施設整備」
- ・情報提供(学校再編NEWS)

牛越市長

説明が終わりました。

ただ今の説明につきまして、ご質問やご意見等、また、それぞれ詰めていただきました内容につきましてご感想などがありましたら、ご発言をいただきたいと思います。

審査に当たっていただきました皆さん、特に、校章については、校章の選定委員会を経てこの4案の中から最終的に教育委員会でご決定いただきましたが、シンプルでメリハリの効いた両校のこれまでの校章のイメージを上手く融合させ組み合わせていただ

- 中山教育長職務代理者
牛越市長
下川教育委員
牛越市長
仲原教育委員
牛越市長
森教育委員
牛越市長
下川教育委員
- いております。このことについて、中山代理いかがでしょうか。
- 非常にタイトな日程でしたが、生徒や保護者を含めた選定委員会で丁寧な積み上げをして決定されたことはとても良かったと思います。デザインについては様々な意見もありますが、一中と仁中の両校を融合させたいという願いが上手く表現されていて、非常に良いデザインが選出されたと思っています。
- ありがとうございます。
- 学校現場では、これから様々な場面でこの校章を使うことになります。
- 私の頃は、仁科台中学校が建設された当初で、確か校章はまだ無かったのではないかと記憶しています。
- 下川委員さんいかがですか。
- 私は一中出身です。1年生は仁科台大町分校で、2年生から一中になりました。それぞれ校章はありました。
- 新しい校章を新鮮な目で見ていただいた時に、背景はアルプスの山並みを表現しているように見えますが、仲原委員さん、ご感想がありましたらお願いします。
- 私もこのデザインは大変気に入って、本当にシンプルで尚且つ美しくバランスも良い作品だと思っています。一番の選定の理由は、製作した方が仁科台中学校の在学学生であったことで、その思いが詰まっていることがとても気に入っているところです。
- ありがとうございます。
- 森委員さんもフラットなお気持ちでデザインをご覧いただいたと思いますが、いかがですか。
- 候補に挙がった4点、全て素晴らしいと思いました。また、選定された校章も永く愛される素晴らしい校章だと思います。
- ありがとうございます。
- これから新しい学校のスタートに当たりましては、様々な象徴的なもの、校章からはじまり、生徒の皆さんが毎日使う制服や体操着、或いは校歌といったものがありますが、やはり一番の基本となりますのが校章に表れる一つの学校のイメージですので、この校章は本当に大事にさせていただければと思います。
- また、説明をいただきました制服につきましても毎日生徒の皆さんが身に着けるものですので、生徒の皆さんの意見をしっかり反映し、また、各専門家から3つのタイプをご提案いただき、最終的にとてもスタイルの良い制服が選定されました。
- この制服に関して何かございますか。
- 今回、選定候補に挙がった全てのブレザーの前ボタンが、右前、左前のどちらにも付け替えができるものとなっています。リユースやジェンダーに対応した制服になっているということが良いなと感じました。

牛越市長 事務局、いかがですか。

一本木学校再編係長 アンケート調査からも、時代に合わせたジェンダーに対応した制服をというご意見がありましたので、選ばれた制服だけでなく、提案いただいた制服の全てがジェンダーに対応した制服となっております。

牛越市長 わかりました。

新しい時代の幕開けのように感じます。

また、こうした取組みについての資料や学校再編NEWSにより多くの市民の皆様へお知らせいただきました。

学校再編の進捗状況につきましては以上とさせていただきます。よろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

では、2番目の議題、大町・平地区の新小学校候補地選定に係る評価ですが、小学校の再編事業につきましては、再編基本計画において大町・平地区の校地については現第一中学校又は西小学校の何れかを活用することになっており、これまで教育委員会では、様々な観点から検討を進めていただいております。

昨日開催されました第8回の定例教育委員会におきまして、校地選定の仮評価が行われましたので、本日は、その仮評価に基づいて協議、検討を進めてまいります。

事務局から資料の説明をお願いします。

平林学校教育課長 (資料に基づき説明)

【大町・平地区 新小学校の校地選定に伴う評価検討資料】

- ・小学校再編に伴う改修工事予定・費用等の比較と課題
- ・第一中学校を新小学校とした場合の配置案
- ・第一中学校低学年棟建設後の想定図
- ・西小学校を新小学校とした場合の配置案
- ・旧市内小学校児童数シミュレーション
- ・大町・平地区児童通学範囲と学校位置の関係
- ・市街地の学校位置

牛越市長 説明が終わりました。

ただ今説明のありました資料について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

〔全委員、「意見等なし」〕

特に1ページ、全体の改修スケジュール及び事業費や財源、課題等、これらについていかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

3ページ、第一中学校の低学年棟建設後の想定図内の校庭面積が12,455平方メートルとありますが、これは低学年棟の建設予定地を含めての面積ですか。

平林学校教育課長 現状の校庭面積です。

牛越市長 建設後の校庭面積はどうなりますか。
4 ページ、西小学校の面積は 13,169 平方メートルとあります。
一中の校庭面積は更に少なくなりますか。

平林学校教育課長 低学年棟を配置した想定図では、12,455 平方メートルよりも少
なくなります。

牛越市長 ご出席の皆さん、他にいかがでしょうか。
〔全委員、「意見等なし」〕

荒井教育長 ただ今の中校庭面積について、大事な部分ですので再度確認
してください。

平林学校教育課長 はい、現状の面積は 12,455 平方メートルです。
低学年棟建設後の面積は確認して報告いたします。

荒井教育長 昨日の教育委員会で仮評価を検討した際の面積と相違があつて
はいけませんので、正しく確認してください。

平林学校教育課長 はい、承知しました。

牛越市長 それでは、この件は後程説明をお願いします。
私の方から、1 ページ目のスケジュールについて、両校の改修
工事そのものは約 2 か年としています。現実的に第一中学校の
工期はどのくらいですか。

平林学校教育課長 2 か年より約 3 か月程度少ない期間で竣工すると想定しており
ます。

牛越市長 この資料の記載が両校とも 2 か年となっていますが、このまま
でよろしいか。

平林学校教育課長 第一中学校の工期 2 か年は記載誤りですので、「約」を付してい
ただき「約 2 か年」と修正をお願いします。
〔全委員、「了承」〕

牛越市長 はい、わかりました。
他の皆さん、いかがでしょうか。
〔全委員、「意見等なし」〕
よろしいでしょうか。
〔全委員、「了承」〕
何かありましたら後にご意見等をいただくとして、先に進めたい
と思います。
次に、資料 2 の仮評価表に基づきまして、それぞれ 22 項目の検
討と内容の確認を進めてまいります。
事務局より説明をお願いします。

太田教育参事 (資料 2 に基づき説明)

牛越市長 ・大町・平地区 新小学校 校地選定 仮評価表
説明が終わりました。
まず、仮評価表の全体像について説明がありました。
この全体像についてご質問等がありましたらお願いします。

荒井教育長 私の方からよろしいでしょうか。

牛越市長
荒井教育長

はい、お願いします。

全体のお話しをする前に、昨日の教育委員会で行った仮評価の
手順についてもう少し詳しく説明いたします。

昨日は私が司会進行をさせていただきました。意見が異なった
場合には1項目ずつ採決を行うという前提で評価をさせていただきました。
それから、1項目ずつそれぞれの教育委員さんからお
考えをお聞きして、4人の委員の皆さんのご意見を1項目ずつ集
約いたしました。結果的に、採決を行うことは1項目もござい
ませんでした。全ての項目について委員の皆さんのご協議を私
の方でとりまとめるということでご同意をいただいたと理解をして
いますが、教育委員の皆さん、そういうことでよろしいですか。

〔全委員、「了承」〕

このような手順で進めさせていただいたということです。

また、設計業者がアドバイザーとして同席いただき説明をして
いただく中で仮評価をしましたことは、ただ今教育参事から説明
のありました評価表内の1の校舎の部分と2の工場の影響の部分
の2項目に限ってそれぞれ説明をいただき、そして、その評価を
前段で行った後に退席をいただいた、という手順でありました。

教育委員の皆さん、これもよろしいですね。

〔全委員、「了承」〕

以上が、昨日の評価の進行方法です。予めご理解をいただき
たいと思います。

牛越市長

ありがとうございました。

ただ今の教育長さんの説明を含めて、仮評価の全体像について
この説明内容に従って資料ごとに、一つひとつの評価と表現につ
いてもご確認いただきたいと思います。ここまでのところはよ
ろしいですか。

〔全委員、「了承」〕

それでは、6つの指標ごとに進めてまいります。

【断熱性】

1校舎改築後の教育環境の校舎、断熱性について何かご発言ご
ざいませんか。

〔全委員、「発言等なし」〕

特に、西小学校については、「改修工事により耐熱性能は現在よ
りも向上するが、一中とは同等にならない。」ということですが、
このことについて簡単に説明をいただきたいと思います。

平林学校教育課長

【断熱性】

西小に外断熱工法を施す場合は、現校舎棟はそれぞれ築年数が
違いますが、まず、コンクリートの壁に断熱材を貼り付けること
になります。断熱材については結構性能の良い材料を貼り付ける
ことができますが、更にその外側の材料につきましては、診断が

前提にはなりますが、既存の壁のコンクリートが劣化等しているため、一中は煉瓦状のサイディングという壁を貼り付けていますことから、このような一中並みの材料が貼れないということです。従って、西小については一中と同等の外断熱性能が得られないという説明を設計事務所からいただいているところです。

牛越市長

【断熱性】

それは現在の西小学校の壁の外側に断熱材を入れ、更に外側に一中で用いている外壁を付ける、それが難しいということですね。そうすると、最後に取り付ける外壁自体にも断熱性があるのでしょうか。

平林学校教育課長

【断熱性】

外壁にも若干断熱性はありますが、一中のようにしっかりした外壁を貼り付けることができないということです。一中と同等の断熱効果は得られないということです。

牛越市長

【断熱性】

その外壁というのは、断熱材を保護するだけの機能ではないのですか。それとも、若干の断熱性があるのか。もし、断熱材を保護するためだけの物であれば、薄い物でもいいという発想はありませんか。そうすると、一中と同じ材料でなくてもいいのではないかと思います。いかがですか。

平林学校教育課長

【断熱性】

断熱材を保護する物でございますが、それが薄くなってまいりますと、更に断熱効果としては一中よりも劣るといふことの説明を設計事務所からいただいております。

牛越市長

【断熱性】

ということは、一中で使われている外側の壁にも機能があるということですね。無いとなれば、薄くても構わないということになります。

平林学校教育課長

【断熱性】

見える部分の外壁にも断熱性能があるとのこと。ただ、その内側の断熱材、発泡スチロール状の物よりも性能は劣りますが、最終的な外壁にも若干断熱効果があるとのこと。

牛越市長

【断熱性】

若干という表現ではなく、定性的というよりも定量的な説明ができるようにしていただきたいと思っております。

何パーセント位というような説明ができることが必要になり、断熱性が大きく違うということになれば評価の部分にも影響があると思っております。

中山教育長職務代理者

【断熱性】

昨日の説明では、現在、一中や仁科台で使っている断熱材を西小の壁には付けられなくて、というのは、重さがあり、それが既

存のコンクリートでは耐えられないので、発泡スチロールのような形の断熱性がそもそも劣るものを使わざるを得ないと説明をいただきました。

荒井教育長

【断熱性】

中山委員がおっしゃったことが現実に近いと思います。鉄骨の枠組みを付けて、そして更にその外にコンクリートのチューブ板のようなタイルを貼りつけることが、西小の躯体では加重に耐えられないということです。したがって、そういう工法はできないから断熱材を間に挟む工法になってしまいます。それが、平林課長の発言の内容かと思います。

なお、中山代理が言われたような工法を取るとしたら、全体の躯体の補強を行う建築確認を取り直さないといけません。設計事務所からはそういう説明だったと思います。

牛越市長

【断熱性】

そういうことであれば、仮評価表内の意見及び指摘事項の記載を直さないといけません。

というのは、もし重さだけの問題で、外壁を薄くすることによって実際の断熱効果は断熱材が果たしているということであれば、薄くして重量を落とすことによってできますということにならないか。より専門家の表現と説明にできるだけ近いわかり易い記載に工夫してみてください。

他の皆さん、いかがでしょうか。

仲原教育委員

【断熱性】

昨日、説明をいただいて私もそのように理解しました。元々、同等の物を目指して工事した段階で評価をしましたので、両校同じイメージを持っていましたが、この断熱性に係る部分では全く同じにはならないということでしたので、このような評価になりました。

牛越市長

【断熱性】

わかりました。

ポイントは、やや劣るという問題ではなく、そもそも一中と同じような構造は取れないという事ですね。そこにポイントがあるということが良くわかりました。

では、この評価の一中「◎」、西小「○」という差は、より広がるかもしれませんが、この評価でよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

では、断熱性の指摘事項については、もう少し工夫いただくことを踏まえて、評価はこのとおりといたします。

【機密性】

次に、両校同評価「◎」の気密性についてはいかがですか。

西小は、改修工事により複層のガラス樹脂サッシ等の導入によって一中と同等の機能が保たれるとの意見ですが、表現を含め、このとおりでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

【防音性】

次に、防音性も同じように、西小は改修工事により複層ガラス樹脂サッシの導入で一中と同等の機能が可能となるという表現ですが、両校「◎」のとおりでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

一つ、意見及び指摘事項の「校舎が道路から遠いため問題なし。」というのは、付帯的な意見ですね。

〔全委員、「了解」〕

わかりました。

【バリアフリー達成度】

次に、バリアフリーの達成度については差があります。エレベーターの設置や車いすの移動という観点から評価いただいておりますが、この表現と評価についてはいかがですか。

〔全委員、「意見等なし」〕

これでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

それでは、このようにお願いします。

ただ、西小ではエレベーターを設置する場合、構造上2基となるとありますが、これは必須の要件になるのでしょうか。そのことについて確認をお願いします。

太田教育参事

【バリアフリー達成度】

冒頭申し上げましたとおり、一中とできるだけ同等の環境に整備するためには、当初は予定にありませんでしたが、設計事務所に確認したところ、エレベーターの設置は可能という事でしたので、同等の条件で評価するという観点から、こうした表現としております。

牛越市長

【バリアフリー達成度】

はい、わかりました。

同等の条件として比べるとしても、このように一中「◎」、西小「○」という差が出ているのですね。わかりました。

では、このバリアフリーの達成度についても、この評価どおりでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

【機能性】

次に、校舎の面積や教室数、駐車場などの機能性について、一中「◎」、西小「△」の評価ですが、特にご発言されることがあればお願いします。

森教育委員

【機能性】

確認ですが、昨日の教育委員会において西小の階段やトイレが狭いと申し上げ、階段の広さについては避難経路となりますので、危機管理の観点から考えるとどうなのかと思いましたが、現在学校生活を送っている訳ですので、今までは階段の狭さについて特に問題はなかったのでしょうか。

太田教育参事

【機能性】

実際に、例えば、火事が発生して大量に非難してパニックになるということは今まではございません。避難訓練をしっかりとやっているということもございしますが、いざという有事には何が起こるか分からないということは可能性としてはあるかと思えます。

森教育委員

【機能性】

ありがとうございました。

では、この表現、評価で問題ないと思えます。

西小のトイレが狭いことについて、保護者の皆さんはトイレの衛生面を気にされている方も多いかと思えます。広くて衛生的なお手洗いが必要だと思えます。

普通教室をトイレに改修することもできるとお聞きしましたが、西小の場合は普通教室に余裕が無いので、普通教室をトイレにするということは難しいと思ひ、このような評価と意見になりました。

牛越市長

【機能性】

ただ今、トイレのお話をいただきましたが、仮にスペースがあったとしてトイレを増設するという事になると、或いは、一つずつのトイレの個室を広げるとなると、相当の工事が伴います。特に、給排水関係の工事費も増大するかと思ひますが、これについては試算していますか。

太田教育参事

【機能性】

基本的に、西小学校につきましては、増築や校舎の中を広げることが現在想定されておりません。また、構造上かなり難しいと考えております。

牛越市長

【機能性】

先程、森委員から避難経路の広さについてのご意見がありましたが、児童が避難するときのことを想定しなければいけませんし、また、新しい小学校が大規模災害等で避難所と指定された場合には、これも大きなポイントになるかと思ひますので、そのことも意見及び指摘事項で表現していただきたいと思ひます。

それでは、機能性について他に何かございますか。

〔全委員、「意見等なし」〕

では、一中「◎」、西小「△」として評価及び指摘事項が表現されていますが、これらについては、このとおりでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

それでは、このように評価いたします。

【校庭】

次に、屋外環境活動の校庭、広さや使い易さなどについて、これまでの評価では改修後の評価をいただいておりますので、低学年棟建設後の一中の校庭の広さについては再度の確認をお願いします。

平林学校教育課長

【校庭】

先程、一中校庭は、現状 12,455 平方メートルと申し上げましたが、低学年棟校舎の面積が確認できましたので報告します。

資料 1 の 3 ページをご覧ください。全体の想定図になりますが、左上の 12,455 平方メートルは、再確認しましたところ現状の校庭の広さで間違いありません。その少し下になりますが、低学年棟 1 階の表示がされており、その 1 階の床面積が 1,235 平方メートルと表示されております。今回の低学年棟の位置については東西に伸びた形で配置しております。今後、南北に配置するといった検討も出てくるかと思っておりますので、例えば、この図面のおりそっくり校庭に建設した場合には、現状の面積から低学年棟 1 階の床面積を差し引いた数値が改修後の校庭の面積になります。委員の皆様への説明としましては、ただ今申し上げました数値が改修後の面積となり、現状の面積から若干面積が減少すると改めてお伝えいたします。確認の状況は以上となります。

牛越市長

【校庭】

ありがとうございました。

荒井教育長

【校庭】

低学年棟は全て現状の校庭に配置されるわけではないと思います。今緑地になっている部分にもかかってくると思います。そうすると今の試算では、例えば、低学年棟の 1,235 平方メートルの全てが校庭に入るわけではなく、その一部が校庭部分に入る、或いは、半分の面積が校庭に入るということも考えられ、ある程度想定して計算をしなければいけません。その辺はいかがですか。

平林学校教育課長

【校庭】

半分かかった場合の面積でございますが、11,838 平方メートルという値となります。

牛越市長

【校庭】

例えば、築山のあるこの低学年棟の庭はもう少し圧縮できるの

か。つまり、低学年棟をもう少し南側に配置することは可能ですか。

平林学校教育課長

【校庭】

その配置の検討ですが、既存校舎との接続の場所によって配置が変わってくるかと思います。

荒井教育長

【校庭】

現在のところ、2階のパソコン室に接続すると仮定して計算すれば、大体の面積は出てくるものと思います。その試算をお願いします。

平林学校教育課長

【校庭】

はい、承知しました。

牛越市長

【校庭】

もう一つ、想定図の3ページ、2階部分に渡り廊下を造りパソコン教室に接続する想定ということですが、パソコン教室の位置はどこですか。

平林学校教育課長

【校庭】

パソコン教室は2階にあり、その図面の上の点線部分は1階の通路となっています。

牛越市長

【校庭】

接続部分がパソコン教室で間違いありませんか。

太田教育参事

【校庭】

2ページの図面をご覧ください。先程の3ページの接続部分は音楽室に接続された図面となっていますが、実際の音楽室は天井の構造等特殊な教室になっているため改修の予定は無く、現状使っていない南側にありますコンピューター室に接続するよう設計の時には変えていくことになると思います。

牛越市長

【校庭】

図面の配置がずれていますので、誤解が生じてしまいますね。

もし、教育委員の皆さんからお許しをいただければ、本日ご協議いただいた段階で、パソコン教室に接続するということが概ねの方針であるならば、それに合わせた平面図を用意していただくことが適切です。教育長がおっしゃったように、それに基づく概算の校庭面積を出していただいて、この資料の面積も調整後の数字を入れた上で、ほぼ同等レベルということで、他の小学校等の面積も合わせて表記いただくことが適切と思いますが、いかがでしょうか。

下川教育委員

【校庭】

その方針でよろしいと思います。

ただ、かなり南の方へずれてきますので、子ども達が遊ぶ場所が狭くなるのではないかと危惧します。このことも評価の重要な一つだと思っていますので、できれば、他の小学校についても、

グラウンドの面積だけでなく、遊具の場所の面積の比較ができるような情報をいただければと思います。その上で、評価したいと思います。いかがですか。

牛越市長

【校庭】

その点についてもご配慮いただけますか。

〔事務局、「了承」〕

例えば、南側に低学年棟をずらした時に、グラウンド側に遊具を配置することも考えられますので、そうしたことも含めて複合的にご検討いただければと思います。

〔全委員、「了承」〕

建物の北側は雪が残りやすいということも考慮してご検討ください。事務局よろしいですか。

〔事務局、「了承」〕

よろしく申し上げます。

それでは、資料2の一中の校庭面積については、保留としていただき、事務局において精査した上で、報告をいただきたいと思えます。先程、参考までに他の小学校の校庭面積の資料がありましたが、それと比べて考えるならば、同等という結論になりますが、そういう考えでよろしいですか。

〔全委員、「承認」〕

では、この評価につきましては、両校「◎」でご理解をいただきました。

【遊具、遊び場の設置】

先程、下川委員さんからも少しお話がありました、次の項目、遊具、遊び場の設置位置などについては両校「○」の同等という表現であります。この評価についてはいかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

では、細心の注意を払い先程の校庭面積等を調整した上で、この表現が適切かどうか事務局において点検をいただきたいと思えます。

【緑地、花壇、親水施設ほか】

それでは次に、緑地、花壇、親水施設の位置などについて、両校「○」の評価、表現がされていますが、この評価についてはいかがでしょうか。

荒井教育長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

私からよろしいでしょうか。

この評価における意見及び指摘事項の、管理に関する部分は中山委員からのご発言でありました。

かつての大町小学校全体が現在の西小学校になっているため

に、ここに表現されているような見解というものも逆説的に起こり得るといことです。敷地が広大であること、緑地が大きいということが望ましいという反面、学校管理上これだけの負担がかかるという視点も含めて、このような評価になったというように理解していますが、中山委員、このような考えでよろしいですか。

中山教育長職務代理者

【緑地、花壇、親水施設ほか】

これだけ詳細な視点が出る前は、なんとなくどちらの校地が望ましいかを話していましたが、その時には、西小には緑地等が沢山あって小学校の環境としては非常に良いというように話してました。しかし、先日 11 日の見学会に参加してみると、木が沢山あることで教室が暗かったり、その場合は伐採しなければいけないと思いますが、また、かつては畑であったところが雑草地になっていたり、或いは、管理上、除草剤を撒いたのだろうという緑地もあったりして、やはり、管理上とても大変だろうと改めて感じたところです。子ども達にとってみれば広い敷地や緑地は教育環境としては非常に良いとは思いますが、これから児童数や教職員数が減少する中で、管理という面でも検討しておく必要があると思ひ発言をさせていただきました。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

ありがとうございます。

確か以前、学校側からこの管理上の問題について、教職員数が減少する中での草取りなどが本当に大変で、地域の皆さんの協力を仰がなければならないという現状も公式の場で目にしたことがあります。では、そのようなことも含めて、この両校の評価「○」の表現についていかがでしょうか。

下川教育委員

【緑地、花壇、親水施設ほか】

昨日の教育委員会で、皆さんにお聞きしなければいけなかった案件になりますが、資料 1 の 1 ページ目、一中の課題の③について、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

ここに、自然環境（樹木等）や児童用の菜園が必要になるとありますが、野菜作りや稲作等に関連する施設、また、これは様々なご意見があるかもしれませんが、動物飼育用のスペースなどが一中の場合は少し狭いのではないかと考えています。やはり、そういったスペースは新しい学校にも必要だと思ひます。

中山委員がおっしゃったように管理が大変だろうとは思ひますが、もう少し一中の場合でもそのような環境を整備する必要があるのだと思ひます。

先日 11 日に一中の見学をした際、中庭を上手く使えないか、また、隣接する畑などをお借りするといった方法があるのではないかと思ひました。こうした方法を実現するには地域の方の協力が必要になると思ひます。田んぼなどを子ども達の経験の場として

提供していただけるのであれば、校地に農地が無くてもいいのではないかと思います。そういったことも含めて、一中の場合は整備していただくことが必要であると考えます。

今の内容は、この仮評価表のどの項目に入れるのか、又は、1項目追加して評価するとういことも1案かもしれませんが、項目中の緑地、花壇、親水施設ほかの中に菜園も含めるように言葉を追記していただければと思います。

私自身の評価としては、両校とも同等の環境が整備できるということを前提とすれば、両校とも「○」評価でよろしいかと思います。

荒井教育長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

ただ今の下川委員さんの発言、また、先程の中山委員さんが発言された管理上の問題も含めて、昨日はこの項目にまとめさせていただいたと理解をしています。したがって、この項目1つで両方の面を表の右側の意見及び指摘事項に表記しています。そういう理解でまとめさせていただいたところです。

ですから、一中の表記には周辺を活用して環境整備を進めるとしたところです。

下川教育委員

【緑地、花壇、親水施設ほか】

わかりました。

これから市民の皆さんへもこの評価表に基づいて説明していくことになると思います。畑や田などについてのご質問も出るかと思しますので、具体的な文言をここに表記していただくと、理解していただけるとと思います。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

項目上、スペースが許されるなら、例えば、菜園とか学校菜園と入れるのも一つの案ですね。

ただ、そもそも学校菜園というのは現在の小学校にあるのでしょうか。

荒井教育長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

学校菜園としてはありませんが、各教室の外にはそれに近いものがあり、それは花壇などとして利用しています。

また、西小では学校の横に水田を借りて稲作をしています。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

稲作の場合は水路の問題がありますが、学校内に水田がある学校はありますか。

荒井教育長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

ありません。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

もし水田が必要ということであれば、現状では校内に両校ともありませんので、校外にそうした適地を見つけるという表現にし

た方が良いのでは。

しかし、そこまでは記載しきれないので、少なくとも先程下川委員さんがおっしゃった畑なども含めて表現を工夫していただけますか。

〔事務局、「了承」〕

もう一つ、動物を飼育することは教育上効果があるとお聞きしますが、現在市内の学校で、一般的に動物を飼っているということは、ここの項目で考慮する必要がありますか。

荒井教育長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

学校では基本的に動物の飼育は行わないということが前提です。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

では、現在の比較の中には動物の飼育舎のことはイメージしなくてよろしいですね。

下川教育委員

【緑地、花壇、親水施設ほか】

美麻小中でヤギを飼い、学習したということを学校訪問で聞きましたので、そういうことも必要かと思いました。

牛越市長

【緑地、花壇、親水施設ほか】

美麻小中学校の場合は、一定期間の体験学習としては本当に効果的だったと思います。その他の中で、今後の教育内容の充実には課題があるということですね。

緑地、花壇、親水施設ほかについては、再度表現を確認していただくこととし、本日はよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

【プール】

では、プールについて、使いやすさということはどちらも対応していけば同等の比較だということで、これはよろしいですか。

仲原教育委員

【プール】

先日申し上げましたが、一中プール横にアパートが建設されていますので、目隠しなどの対策が必要という記載になりましたが、目隠しが必要なのは子ども側からであって、逆に、アパートの住人の方からすると、プールがすごく近い位置にあるように感じますので、子どもの大きな声に対する防音という表現とした方が適切であると思いました。

牛越市長

【プール】

千葉県では、保育園が近隣に建設されるとうるさくなるからという反対運動のニュースがありました。

事務局、防音についても加えたらどうでしょうか。

平林学校教育課長

【プール】

いろんな柵がありますが、目隠しを兼ねた防音の柵もございま

牛越市長

すので、改修するとなった場合には検討してまいりたいと考えております。

【プール】

ここに表現するかどうかについては、事務局で一旦持ち帰り検討していただけますか。

【事務局「了承」】

では、屋外活動環境については以上といたします。

【通学時間】【通学路】

次に、その他について、まず通学時間、距離による影響はそれぞれ同等ということで、大きな差はない、併せて通学路の安全性の確認でそれぞれ立地条件が共にバイパスの西という条件であり、大きな距離的な差もないということになっていますが、この二つについていかがでしょうか。

特に、一中と西小の通学路については少し詳しい表現がありますが、いかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

意見等ございませんので、この二つについては以上といたします。

【スクールバス】

次に、スクールバスについて。乗降場所の確保などについてはいかがでしょうか。これは説明がありましたように、バスの乗降スペースの取り方で転回スペースを確保するという、やや狭いということと、西小では北東門の拡張整備が必要ということがあります。このことについてはいかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

では、この差についても、また、表現についてもこのようにということでございました。

【地理的要因】

次に、地理的要因であります。全市的な位置関係などについて、一中は大町・平地区の小学校として通学区域の中心にやや近くなるということ、一方で、西小は、大町・平地区の小学校としてやや南寄りになるという表現になっていますが、この表現についていかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

今回はまちづくりという観点からは教育環境としての観点に入っておりませんが、また、避難所として機能することも評価の対象とはしておりませんが、今後、考えていかななくてはならないと思います。北部にこうした教育施設が活かしている施設、機能して

いる施設として置かれているという意味は、やはり、大町・平地区の小学校として、少し北に寄っているというのであれば目的が果たせるのではないかと思います。このような点ではいかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

よろしいですか。では地理的な要因についての「◎」と「○」についても以上といたします。

【改修中の安全性】

次に、校舎改修工事の影響、工事の影響について、改修中の安全性、これについては「◎」と「○」の差がついていますが、一中と西小の課題がそれぞれ整理されております。この表現についてはいかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」〕

西小は、工事中は安全のために最大限の配慮がされることが前提となり、子どもたちが学校に居る環境で仮設校舎を校庭に作るという前提でございます。

この件につきまして、いかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

では、以上といたします。

【改修中の利便性】

次に、改修中の利便性、児童、教職員への影響として「◎」と「△」について、西小は校庭への仮設校舎建設に伴い仮校舎との移動が6回見込まれ、給食の運搬等にも課題が残るということがあります。いかがでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

この件につきましても以上といたします。

【改修に伴う作業】

次に、改修に伴う作業という点で、児童、教職員への影響が「◎」と「△」になっております。これについてはいかがでしょうか。

これは、先ほどの改修中の利便性と似た項目ですね。これは項目に起こす必要がないのではと思いますが、改修に伴う作業ということでは、施工上、一中の方は児童がいない状態で工事するため工事について問題がないという表現であるので、それと同じよう工事の側面から西小の表現ができませんか。つまり、改修に伴う作業について、児童、教職員への影響ではなく、施工上の影響という視点に変えた方がわかりやすいと思いますが、その場合、西小学校は表現が難しいでしょうか。

【改修に伴う作業】

この項目設定でございますが、改修中の利便性というのは、仮設校舎を使うなど、通常の学校生活にとっての不便の点、それから改修に伴う作業というのは、移転などの引っ越し作業が複数回ある、ということがこちらの方の観点になりますので、若干ここが混ざった状態になっておりますが、基本的にこの二つの項目はそうした違いがございます。

牛越市長

【改修に伴う作業】

しかし、例えば、評価欄に利便性のところに仮校舎との移動が複数回ありとなれば、それは引っ越し作業ということで下の欄に記載しなければいけませんね。

太田教育参事

【改修に伴う作業】

そうですね、下の改修に伴う作業の欄に書かないといけません。

牛越市長

【改修に伴う作業】

つまり、まったく同じ評価項目が二つあるのが適切ではなく、利便性と改修に伴う作業のところは評価の内容についてどちらかに整理していただけたらいかがでしょうか。

そうした観点でよろしいですか。

中山教育長職務代理

【改修に伴う作業】

昨日の教育委員会では、確か、利便性での表現は作業の方のことだと発言したと思います。これは、仮設校舎を作るので、例えばグラウンドがないので、近くの西公園とかを借りなければいけない可能性があるということで、学習や活動について不便があるのではないかということを利用して発言したと思います。したがって、仮設校舎があることで、西小の工事作業中には、児童への負担が大きくなるのではないか、という発言をさせていただいたのだと思います。

太田教育参事

【改修に伴う作業】

昨日の仮評価の段階で、グラウンドは西公園に行くまでが大変、それから仮設校舎では生活がしづらい、体育の授業が大変、こうした利便性の面からご意見をいただきましたので、この観点で意見を修正させていただけたらと思います。

牛越市長

【改修に伴う作業】

仮設校舎の設置場所は、校庭に限定される課題もあるという点も評価の中に活かしましょう。

ありがとうございました。整理ができました。

では、「◎」と「△」はこの評価は変わらないということによろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

では、利便性と作業について、評価及び指摘の内容を整理していただきました。

【改修スケジュール】

次に、改修スケジュール、開校までの準備期間「◎」と「○」です。いかがでしょうか。

西小学校の方にR5年、R6-R7末終了となっていますが、時間がタイトですが、いかがですか。

荒井教育長

【改修スケジュール】

これは記載が誤っています。令和4年に劣化度調査をやらなければいけなくなる。その後、設計等をしながら2年間で工事を終わらせるとタイトになる、という意味だと思います。

牛越市長

【改修スケジュール】

併せて校舎の劣化度合いにより改修予定が延びる可能性もあるということですね。そうした事情があるとして評価は「◎」と「○」で変わりませんが、よろしいでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

【校舎環境への影響】

校舎環境への影響、工事に伴う樹木の伐採などについて、これは同等の「○」「○」になっていますが、一中、西小共に一定の樹木等の伐採が必要とあり、もしかすると伐採量が大きく違うかもしれませんが、それは敢えて表現する必要はありませんか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

では、校舎改修工事の影響は以上とします。

【総費用額】

次に、3の改修費用の比較、先ほど詳しい説明がありました、改修費用についてまず、項目のつけ方ですが、総費用額を事業費総額としたらどうでしょうか。全体の費用ということで、「◎」と「○」、一中で12億、西小で25億、これはこの通りでよろしいと思いますが、いかがですか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

【補助金】

次に、補助金ですが、これは「国庫」を「補助金」の字句の前に加えてはいかがか。そして、国の補助金の適否については補助金の交付見込みという記載にしたらどうでしょうか。

〔出席者全員、「意見等なし」〕

この評価も大きく開いております。「○」と「◎」の差は大きいと思いますが、この評価でよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

【市債借入金】

次に、市債借入金、記載を借入額としましょうか。これは「◎」でもいいのではないかと思います、いかがですか。

太田参事

【市債借入金】

借入金ですので、「○」で判断されたと聞いております。

牛越市長

わかりました。これは「○」でよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

【市実質負担額】

次に、市の実質負担額です。「◎」と「○」はそれぞれの実一般財源といいますか、実質的な金額をいうことで、一中3億と西小6億ですね。「◎」と「○」、それぞれ比べて市費の負担が少ない、大きいと見込まれるとなっています。これはこれでよろしいでしょうか。

〔全委員、「意見等なし」「了承」〕

【4その他】

次に、4のその他ですが、転用、用途変更の影響等について、市債の扱いという項目の名前で欄外の表を作っていただいております。一括返済というのは、学校から公共施設へ、学校から民間へ譲渡した場合等、一括返済が必要とした方がわかりやすいので、「一括返済が必要」との記載はいかがでしょうか。

荒井教育長

【4その他】

国庫補助の返還なしはいいのですが、最後の3つ目ところ、民間施設の場合は同額というような表現になるかもしれません。

牛越市長

【4その他】

残額相当額でいいのでは。減価償却後の残額相当額を市の学校施設整備基金の名目で積み立てが必要というように、どこに積み立てるかを記載した方が安心します。

下の欄で、市債の対応について3つのパターンで返済の必要がない場合とある場合とがありますが、根拠の欄について融資規定でする必要がないというのは、一括返済が必要のところの説明にはなりませんので、残債の2億2千万円の一括繰上償還には差が生じると書けばいいのでは。

では、この仮評価表について全体で何かございますか。

仲原委員

【4その他】

一番下の一括返済の必要というところの「なし」のところは必要に対して不要との記載が必要ですね。

牛越市長

【4その他】

そうですね。一括返済は不要、国庫補助についても返還は不要、と追記しましょう。

そういうところの表現も整理していただきましょうか。

他にいかがでしょうか。

特に、改修費用の財源について何か助言いただけることはありますか。

三原企画財政課長

【4 その他】

財政的にもここまできっちりシュミレーションしていただいておりますので、今後の見通し等も立てやすくなると思っております。

総事業費等の国庫補助金の割合につきましても、実質的な部分でもここまで見込んでいただいておりますので、精度もかなり信頼のおける数値に見えてくるかと理解しているところでございます。

牛越市長

全体につきまして、資料1、資料2合わせて何かご発言はありますか。

〔全委員、「意見等なし」〕

それでは本日もご協議いただきました様々のご意見、あるいは修正のご意見、確認のご意見をしっかりとまとめていただくこととし、再修正したものを教育委員会事務局で確認し、教育委員の皆様にもご説明するというところでよろしいでしょうか。

〔全委員、「了承」〕

では、ただ今申し上げましたとおり、ご意見ご指摘いただきましたことを精査の上、教育委員会での確に対応いただくようお願いしたいと思います。

次に、今後の取扱いの方針について、教育長から説明をお願いしたいと思います。

荒井教育長

熱心にご協議いただきましてありがとうございます。感謝を申し上げます。ただ今市長さんからお話をいただきましたように、必要かつ所要の修正等行い、教育委員の皆さんにもご確認いただき、市長さんにもご確認いただきました。その上で9月定例市議会の全員協議会でこの内容をご説明し、さらに市民の皆様にも周知を図り、そして、9月13日と20日に予定をしております、市民説明会でこの内容を説明し、ご意見をいただく予定としております。これはあくまで仮評価ですので、市民説明会でのご意見やご要望には耳を傾け、そして、それらを踏まえ10月の定例教育委員会で再度協議をして、そこで決定できればという考えです。しかし、再度慎重審査が必要とあれば、決定が11月になることもあり得ます。定例の教育委員会で慎重審議をして最終的な評価を定め、そしてその評価に基づいて、校地の選定を進めてまいりたいという方針でありますのでその点を今日、ご確認いただければと思います。

牛越市長

教育長さんから説明がありました。9月市議会定例会の全員協

議会を9月1日に予定していますが、そこでまず議会に説明し、市民説明会を9月13日と20日という日程で進めていくというところでございます。決定が遅れることになれば、先ほどの課題にありましたとおり、西小学校校地の場合には事前に様々な調査を行うことが前提になっておりますので、できるだけ早期に決めることも頭の中に入れて進めていただきたいと思います。

ご出席の皆さん、ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

〔全委員、「意見等なし」〕

では、(2)の評価については以上といたします。

(3)のその他について事務局から何かありますか。

〔事務局、「特になし」〕

それでは、会議事項につきまして、すべて終了しましたので、進行役を退任させていただきます。

竹内教育次長

長時間ご熱心にご協議いただきましてありがとうございました。

事務局といたしまして、本日ご指摘いただきました点、十分整理して今後の手続きに備えていきたいと思っております。

それでは以上を持ちまして、本日の総合教育会議を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。

《閉会 午後3時30分》